

第9期古賀市介護保険運営協議会（令和6年度第2回）議事録

標題の件について、下記のとおり実施したので、古賀市介護保険運営協議会規則（以下「運営協議会規則」という。）第6条に基づき議事録を作成する。

1. 日時 令和6年9月19日（木）19時00分から20時00分まで
2. 場所 サンコスモ古賀 203・204会議室
3. 出席委員 堤啓 会長、加藤功 副会長
峰松豊美 委員、新本瑞穂 委員、秋山実里 委員
白井ひろ子 委員、仲道誠明 委員、阿部友子 委員
永沼八重 委員、藤洋介 委員
4. 欠席委員 なし
5. 傍聴者 なし
6. 諮問・報告・議事
（1）第9期介護保険事業計画の概要
※第8期介護保険事業計画の評価を併せて実施
7. 資料
【資料1】介護保険事業における第8期計画の人口等の推計値と実績値について
【資料2】介護サービスの利用状況
【資料3】地域支援事業（事業費）の状況
【資料4】介護保険事業計画（第8期）に記載した取組と目標に対する実績と評価

8. 会議内容

(1) 第9期介護保険事業計画の概要について 資料1～4

事務局より、第9期介護保険事業計画の概要と、第8期事業計画の評価を併せて説明。

【質疑】

- 資料4 第8期の実績と評価は、公開されている内容か。
⇒ 現時点で、公表はしていないが、今回の議事録と併せて市ホームページにて公開予定。

- 第9期計画書 P13 図表 2-4 に記載されている、要介護（支援）新規認定者の原因疾病は介護認定主治医意見書からの抽出となるのか。
⇒ 主治医意見書に記載されている生活機能の直接の原因となっている疾病の第1位に記載されている疾病名を抽出している。
⇒ 主治医によっては、専門の病気を第1位に記載する可能性もあり、主治医によって主病名が変わってくる可能性もあるので、参考資料として活用していくのが良いと思われる。

- 資料3 地域支援事業の内訳として4事業が記載されているが、包括的支援事業、任意事業、包括的支援事業（社会保障充実分）について具体的事業内容のご説明をお願いしたい。
⇒ 包括的支援事業は、地域包括支援センターの運営事業、ケアマネジャーの支援事業、高齢者虐待対策が主な事業となっている。
任意事業は、介護給付費の適正化事業、認知症高齢者等行方不明 SOS ネットワーク事業や紙おむつ給付事業からなる家族介護支援事業、成年後見支援制度や認知症サポーター、配食サービス、高齢者見守り事業からなるその他事業が主な事業となっている。
包括的支援事業（社会保障充実分）は、在宅医療・介護連携推進事業や生活支援体制整備事業、認知症本人やその家族等への支援が主な事業となっている。

- 資料4 ヘルス・ステーションの設置について、第8期計画期間中は、新型コロナウイルスの影響で思うように進まなかったこともあり、令和5年度末は14か所の設置となっている。なかなか進まない現状や廃止となった行政区があることについて、どのようにお考えか。また、新型コロナウイルスの影響より中止していた3か所の地域リハビリテーションが再開されたとのことだが、具体的な場所はどこになるのか。
⇒ ヘルス・ステーションの推進には、人材育成と確保が重要であり、推進員や食進会に介護予防サポーターの育成を行っているが、地域の活動に対する参加意欲を高めていくことに課題がある。また、ヘルス・ステーションの設置が進まない理由として、各行政区で介護予防に特化したつどいの場の活動が充実していることも影響していると考えられる。ヘルス・ステーションを廃止した地域では、人材不足が課題となっており、市としても健康測定や出前講座等でサポートを続けており、再設置に向けた働きかけを行っているところ。地域リハビリテーションは、令和5年度には花鶴丘1丁目区、古賀北区、米多比区、花見東2区の4か所で地域リハビリテーションが取り組まれている。

- 資料 4 重層的な相談支援として、各中学校区に、1人ずつコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が配置されていると思うが、3人で足りているのか。活動内容が見えてこないが、より力を注ぐべきではないかと思う。
 - ⇒ CSWは、各中学校区に1人ずつ社会福祉協議会の職員を配置している。相談を受ける部署は、CSW以外にも、高齢者、障がい者、子ども・子育て、経済的困窮など様々な相談窓口があり、CSWと関連がある内容については、情報を共有し、支援方法を考えている。また、地域包括支援センターとは定例会議を行っており、関係機関との連携は深めていっているところ。ただ、CSWが相談窓口であるということについてはあまり広がっていない現状にあることから、周知啓発に努めていきたい。

- 資料 4 人生会議について広まらないことを実感しており、このままの状況では厳しいのかなと思っている。団塊世代が終末期を迎えるようになってくるので、もっと広めなければならないと思っているがどのようにお考えか。
 - ⇒ 人生会議については、ご自身の現実問題として取り扱ってもらうのはなかなか難しいと実感しているところ。継続的な普及啓発として、人生会議に関して広報への掲載をしており、今年度は、10月号の広報こがに特集ページを組んでいる。また、機会があるごとに、人生会議について周知しているところ。

- 資料 4 古賀市内の事業所で、人材確保が困難となっている事業所はあるのか。また、そういった場合に、どのような対応をされているのか。事業所が一つ閉鎖したと聞いているが、人材不足により経営が難しくなっている事業所があるのか教えていただきたい。
 - ⇒ 人材確保については、どの事業所においても厳しいと感じている。閉鎖された事業所については、直接的な原因までは把握はしていないが、人材確保だけでなく近年の物価高騰も原因にあるのではないかと推測している。

- 資料 4 運営指導等で、施設に行くところがあると思うが、その際に人材確保等の課題は把握できないのか。事業所の廃止によって、利用者にはどのような影響があったのか。また、施設に入りたくても入れず順番待ちをしているような方はいらっしゃるのか。
 - ⇒ 運営指導においては、経営状況の指導までは行っておらず、人材確保については、把握しきれないことがある。閉所された事業所の利用者については、事業所が責任を持って、次の事業所を探すなどしていただいた。また、待機者については、申込のタイミングや施設の状況にもよるため一概には言えないが、待機が発生している状況の事業所があることは聞き及んでいる。
 - ⇒ 患者から施設について相談された時には、訪問などを行って自分の生活に合うのか、自分の親の生活に合うのかを見極めていただくよう伝えている。
 - ⇒ 福祉会で施設を訪問したいと伝えたところ、新型コロナウイルスによりまだ受入ができないと言われたことがある。
 - ⇒ 各施設は、新型コロナウイルスでとても対応に苦労してきた経緯があり、一度新型コロナウイルス感染者が発生すると、集団感染の可能性もあることから慎重に対応をされている。

- 参考資料 地域密着型事業所は、運営推進会議を定期的実施していると思うが、開催されているか否かについて、確認しているのか。
⇒ 運営指導会議は、市職員も出席していることから、開催状況については確認できている。

9. その他

- ・議事録について
署名については堤会長と仲道委員にお願いします。

- ・次回開催日程について
令和6年度第3回を12月19日（木）に開催予定。